

マイバッグ運動に参加しましょう。

マイバッグ運動とは、お買い物をした時にお店で商品を入れてくれるレジ袋を使わずに持参した袋・バッグを使用しようという運動です。

一人ひとりが実行できる、もっとも身近な環境保護活動の一つです。

なぜ、このような運動が行われているのか考えてみましょう。



そもそもレジ袋は何からできているのでしょうか？

レジ袋は石油からできていて、日本国内で年間約300億枚使われています。乳幼児を除いた国民1人あたりに換算すると年間約300枚使われていることとなります。

レジ袋1枚作るのに石油が約20ミリリットル必要なので、300億枚では約60万キロリットル、これを2リットルのペットボトルに換算すると30億本にもなります。

レジ袋を使わなければ、それだけの石油を削減することができるという考え方もできます。

どうしてレジ袋を使うことが問題なのでしょうか？

レジ袋は、お店から家に買物した物を運ぶための袋です。毎日もらっていると、すぐにたまってしまい、ほとんどがそのまま“ゴミ”になっています。

ちなみに、レジ袋をはじめとする容器・包装は家庭から出るゴミの約6割を占めています。

その他にも、レジ袋がいろいろな場所に落ちているのをよく見かけます。レジ袋の中には、土に返ることなく自然界に残るものもあります。山や川、海などに捨てられたレジ袋を野生の動物・魚が飲み込み窒息したり、胃で分解できず、命を落とすケースもあります。

では、マイバッグを使用するには、マイバッグを購入しなくてはいいのでしょうか？

いいえ、わざわざ購入しなくても家にあるもので、お買い物が可能です。

いま家にあるレジ袋をお買い物の時に持参して商品を入れてもらっても立派なマイバッグです。

ふるしきも結びかたを工夫することにより利用することが可能です。最近、レジ袋の有料化も進んできました。

みなさんも身近なところから、ゴミ減量・環境保護に取り組んでみませんか？